

特集 財政状況をお知らせします

令和2年度決算報告の巻

問い合わせ:財政課 ☎ 23-3025

今号は、安来市の財政状況をお知らせします。市の財布には「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つがあります。3つの決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金や、国・県からの支出金などがどのように使われたかを報告します。

この他にも、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、市ホームページで公開していますので、ご覧ください。





分担負担金 0.4% 1 億 826 万円 一使用手数料 1.3% 3 億 9,466 万円 財産収入 0.1% 2,884 万円

、地方譲与税 0.9% 2 億 5,796 万円

·交付金等 3.1% 9 億 4,625 万円

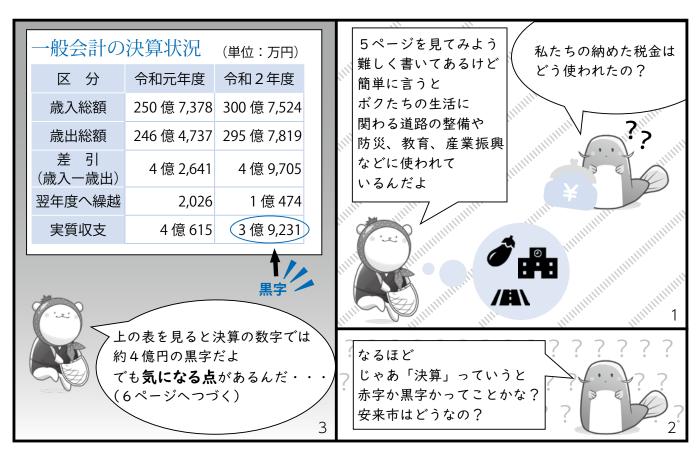
一般会計歲入

歳入総額 300 億 7,524 万円

■歳入総額は前年度比 19.9%の増 となりました

主な増減(前年度比)

- ●繰入金 4.0%減(△6,375万円) 財政調整基金、地域振興基金の取り崩しの 減など
- ●諸収入等 0.9%増(1,246万円) ふるさと寄附金の増など
- ●地方交付税 7.7%増(6億8,177万円) 公債費の伸びによる増など
- ●国庫支出金 186.1%増(45億7,507万円) 特別定額給付金給付事業費補助金の増など
- ●県支出金 7.8%増(1億2,576万円) 新型コロナ緊急包括支援交付金の増など
- ●市債 8.6%減(△1億7,870万円)
 大型建設事業の終了による発行額の減など



一般会計 歲出

歳出総額 295 億 7,819 万円

■歳出総額は前年度比 20.0%の増と なりました

主な増減(前年度比)

- ●総務費 142.5%増(36億9,163万円) 特別定額給付金事業の増など
- ●民生費 3.8%増(2億6,176万円) 放課後児童クラブ運営事業の増など
- ●衛生費 1.3%増(2,657万円) 感染症予防事業の増など
- ●農林水産業費 10.1% 減(△1億5,597万円)農業振興事業の補助の減など
- ●商工費 1.2% 増(1,131 万円) 商業・サービス業感染症対応支援事業の増 など
- ●教育費 8.0%増(1億8,549万円) 小中学校タブレット整備事業による増など

■目的別内訳

議会費 0.6% 1 億 8,184 万円

労働費 0.5%

商工費 3.2%

消防費 2.6%

9億3,749万円

7億7,410万円

1億600万円

災害復旧費 0.4%

1億5,935万円

農林水産業費 4.7% 13 億 8,257 万円 総務費 21.2% 62 億 8,207 万円

民生費 24.2% 71 億 4,564 万円

衛生費 7.2% 21 億 2,641 万円

土木費 8.5% 25 億 2,609 万円

教育費 8.5% 25 億 1,355 万円

公債費等 18.4% 54 億 4,308 万円



◆和2年度に行った 事業の一部を紹介!

医療機関等感染防止対策支援事業 1,245 万円

新型コロナウイルス感染症対策を 行った医療等を提供するため、給付 金を医療機関等へ支給しました。

教育のICT環境整備事業

1億1,217万円

新学習指導要領の全面実施に向け、教育のICT環境を整備。その一環で、情報活用教育推進指導講師を2人配置し、学習編成や研修等について指導助言を行いました。



商業・サービス業感染症対応 支援事業 8,723 万円

店舗の新型コロナウイルス感染 症対策や事業継続に向けた新事業 展開の経費に補助を行いました。

救急車両購入事業

3,254 万円

経過年数と走行距離により、老 朽化が著しく、災害対応への影響 が危惧されるため、伯太救急車両 を更新。消防力の充実強化を図り ました。



放課後児童健全育成事業

1億6,491万円

放課後児童クラブの実施箇所を新たに1クラブ増やし、全15クラブで 運営し保護者のニーズに応えました。

観光キャンペーン事業

525 万円

主要観光地である清水・さぎの 湯エリアを中心とした観光プロ モーションによる認知度の向上と、 日本遺産関連の周遊企画等による コンテンツの充実を図りました。





健全化を判断する数値

※国の基準を下回っていればいるほど健全な財政

項目	用語解説	市の決算 比率(※)	国の早期 健全化基準	国の財政 再生基準
実質赤字 比率	一般会計を中心とした赤字 の割合	赤字なし	12.78%	20.00%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企 業会計も含めた全会計の赤 字の割合	赤字なし	17.78%	30.00%
実質公債費 比率	市の平均的な年間収入に対 する借金返済額の割合	15.5%	25.0%	35.0%
将来負担 比率	市の平均的な年間収入に対 する将来に負担が見込まれ る負債(借金)の割合	118.4%	350.0%	_

左の表は一般会計が 健全に運営できているか 判断する数値が 表してあるよ



数値を見るとそう思うんだけど

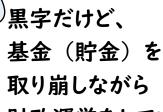
下の表を見てごらん

これは貯金がどれだけ残っているか

を表しているんだけど

これを見ると安来市は・

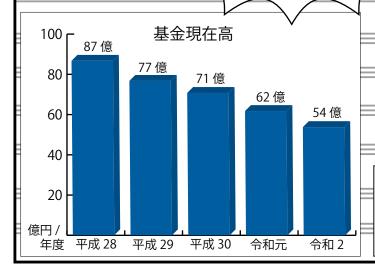
上の表を見ると基準値よりも 下回っているから 安来市の財政は安心だと 思っていいのかな?



財政運営をしているんだ



積み立てた貯金は 年々減っていて 令和2年度は前年度に比べて 約8億円減っているね だから、財政の構造改革が 必要な状態なんだ



家計で表すと、ここ数年は、貯金を切り崩して 毎月の生活費に充てているイメージ。将来、安 心できるように貯金を積み立てながら運営を 行っていく必要があります。

資

金

不

足

比

率

公営企業等の経営の健全化に向けた比率

国の経営 会計名 比率 健全化基準 水道事業会計 資金不足額なし 20.00% 下水道事業会計 資金不足額なし ※この基準 病院事業会計 9.7% を下回って いれば健全 電気事業特別会計 資金不足額なし な財政 生活排水処理事業特別会計 資金不足額なし

左の表は公営企業会計等 (決まった事業にしか 使わないお財布) の資金繰りが 健全だったかを判断する 数値を表してるよ



市立病院では 資金不足の改善に向けて まずは 事業の総点検を行いながら 一步 在宅医療や総合診療などの 新たな取り組みを はじめているんだ おわり 3 すべての会計で 国の基準は下回ってるね でもちょっと待って!! ***!? 資金不足が発生してる事業 があるけど・・・

会 計 名		歳入(収入)		歳出(支出)	
		令和2年度	対前年度増減	令和2年度	対前年度増減
	国 民 健 康 保 険	43 億 475	△1億5,732	42 億 4,580	△1億8,748
後期高齢者医療		12億81	1億901	11 億 8,920	1億688
特	介 護 保 険	52 億 9,503	2,148	50 億 4,083	1億612
別	電気	7,868	2,672	6,987	2,427
会	生活排水処理	7億5,468	-	7億5,369	-
計	母 里 財 産 区	141	30	89	87
	井 尻 財 産 区	19	△3	2	△1
	赤屋財産区	11	△1	2	1
	水道(収益的)	11 億 3,300	△ 3,229	10億5,681	△ 4,047
	水道(資本的)	4億7,022	△3億3,542	8億8,091	△2億909
営	下水道(収益的)	11億3,581	-	9億8,439	-
営企業会計	下水道(資本的)	10 億 6,782	-	15 億 7,472	-
	下水道(特例的)	8,555	-	8,610	-
	市立病院(収益的)	27 億 954	△3億1,376	26 億 6,778	△2億2,745
	市立病院(資本的)	2億1,715	1億6,014	3億5,316	△ 2,305

特別会計等の 決算状況は この表を見てね

(単位:万円)

業を行っており、道料金、医業収入いずれも国民健 計」や水道事業や病院事業などの「公営企業健康保険事業や介護保険事業などの「特別会安来市の会計には、一般会計のほか、国民 るため一般会計とは分けています。 5行っており、その収支状況を明らかにす5金、医業収入など特定の収入を財源に事5ずれも国民健康保険税や介護保険料、水 があります。



